



包括型脳科学研究推進支援ネットワーク  
平成25年度 夏のワークショップ キャリアパス企画

「若手のキャリアプランにおけるテニュアトラック制度の可能性」

# Job search から Tenure-track の現状まで

加藤 明

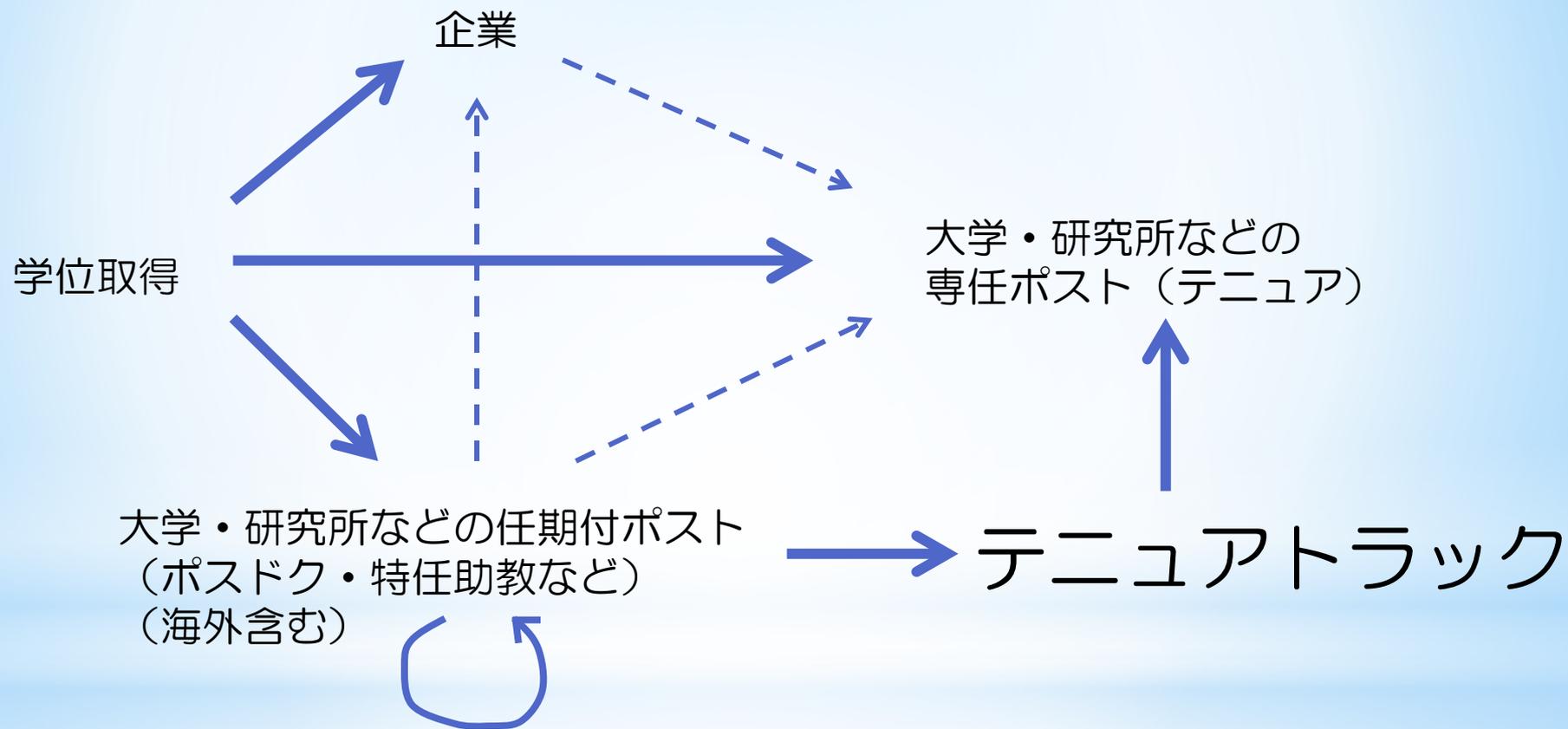
東海大学創造科学技術研究機構医学部門 特任准教授  
システム神経科学分野

2013. 8. 30 @名古屋国際会議場

# 内容

- 研究者のキャリアパス
- テニュアトラックの実際
- テニュアトラックに至るプロセス
- 日米のテニュアトラックの違い

# 研究者のキャリアパス



# 私のこれまでのキャリア

学位取得 2000. 1



国内ポストドク 2年7か月  
(CREST)



海外ポストドク 8年5か月  
(HFSP fellow, NIH grant)



テニュアトラック 2011. 4-

テニュア獲得?!



- この間、ボスがテニュアトラックからテニュア獲得
- 自分はジョブポストに78件応募

## ポスドク

- PI ではない
- 単年契約  
(次年度の保証は  
場合による)
- 次はない
- グラント獲得は必須でない  
(取るに越したことはないが  
次への保証はない)
- PI からサポートされる

研究 100%

## テニユアトラック

- PI である
- 単年契約  
(テニユアトラック期間中の  
身分保証)
- 次がある
- グラント獲得が次ステップ  
への条件
- 大学からのサポート有

研究 50-70%  
教育他 30-50%

## テニユア (専任)

- PI である
- 終身契約  
(任期・更新有の場合も)
- 次はいらない
- 基本的に全て自前

研究 30-50%?  
他 50%以上?

# テニユアトラックの実際

# 運営制度

学長の指揮の下、各副学長がテニユアトラック制に関わる委員会を主導  
医学部では基礎医学系、理工系学部では重点研究分野に絞り採用

• 責任ある運営体制

• 高い審査の透明性

公募採用時： 海外・学外委員複数名の意見を反映  
他学部・他研究科委員を委員会に招聘

年次業績評価時： 外部委員を複数名招聘  
(メンター→業績評価者とならない)

奨励教員審査時： 配属予定学部長以外の学部長・研究科長が審査に関与 (研究業績十人物像)

• 育成された教員の支援

研究の環境・人的支援を一定期間継続



# 実際の状況

- 研究スペース 交渉次第（現在居室約 50 m<sup>2</sup> + 実験室約 50 m<sup>2</sup>）

他に動物飼育スペース

- 研究費 初年度 300 万、次年度より 50 万ずつ減額して支給

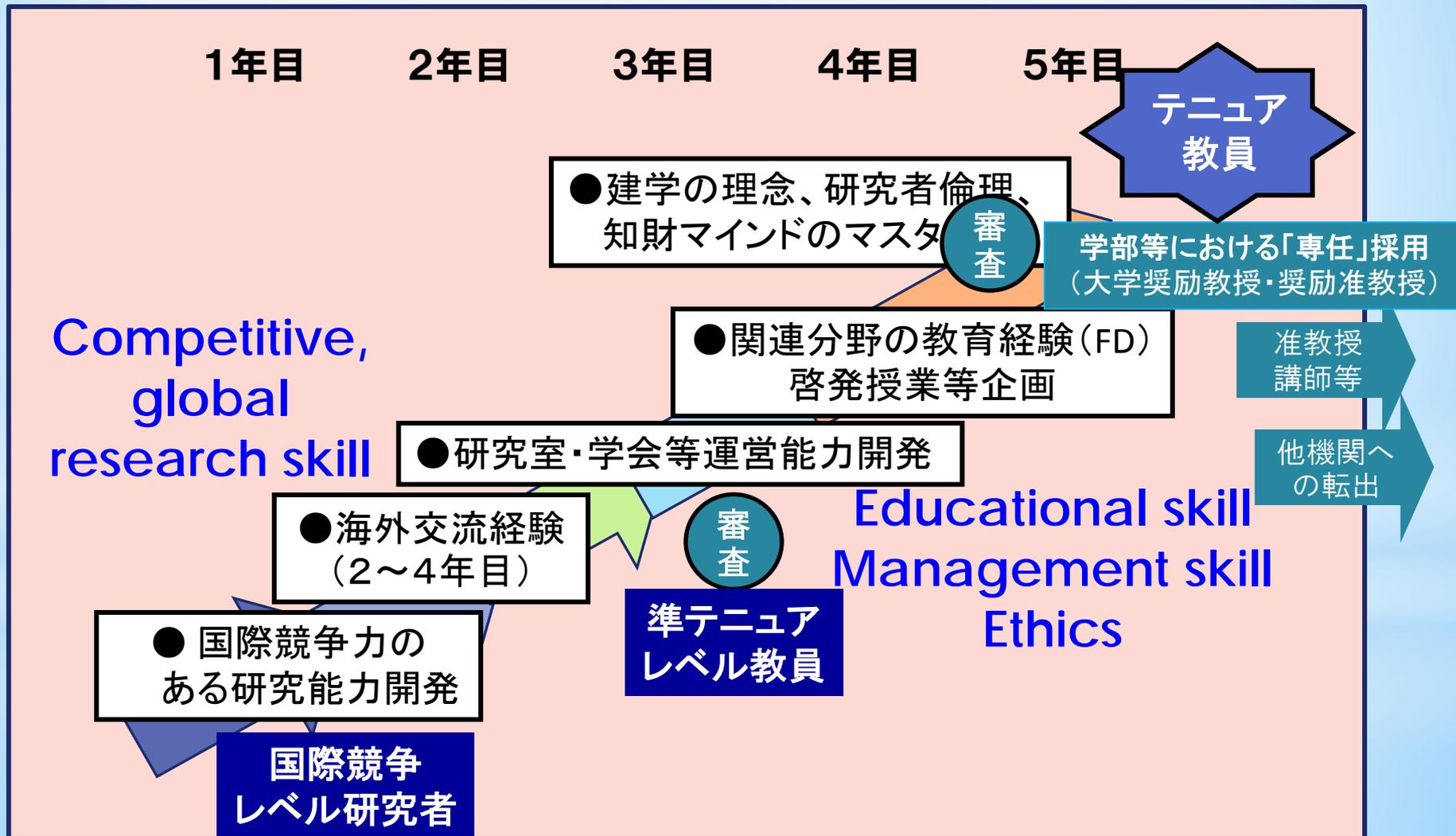
公的資金の他、大学関連財団などへの応募資格あり

- 人的支援 ポスドク 1 名 研究補助員 1 名

（その他、現在学生 6 名所属）

- 授業義務はないが、希望により年間 10 コマ程度の講義が可能

# 人材育成の年度取組



テニユアトラックに至るプロセス



# テニュアトラック応募から着任までのプロセス（東海大学の場合）

10-12月

1月中旬-下旬

2月下旬

公募・書類審査

一次面接（4-6名）

二次面接 約20分

プレゼンテーション約20分

学長、副学長など

質疑応答 約30分

(English)

(Closed, English)

3月上旬

4月1日

内定通知

着任

# どんな人が応募できるのか

「博士の学位を有し、国内外の大学における助教、ポスドク、あるいは同等職歴の経歴を有し、かつ、主要な研究成果を挙げた者で、原則、着任時点で学位取得後10年以内の者とする。」

「文部科学省の平成25年度テニュアトラック普及・定着事業による補助対象となる予定のため公募締切時点において40歳未満であること。但し、医学、獣医学などで臨床研修の経験を積んだ者は43歳未満とする。」

## 応募時のスペック

所属：Stanford University, Department of Neurobiology

身分：Research Associate

年齢：40歳（学位取得後10年10か月）

論文：17報 内 first author 8報（CNS なし）

日本とアメリカのテニユアトラックはどう違うのか

# テニュアトラック応募から着任までのプロセス（アメリカの場合）

9-11月  
公募  
(100-300人)

12-3月  
一次面接  
(4-6人)

4-5月  
二次面接  
(1-2人)

5-7月  
内定

9-12月  
着任

Akira Katoh, Ph.D. Department of Neurobiology Stanford University		March 3-4, 2008	Tuesday March 4	
<b>Sunday March 2nd</b> 6:49PM	Arrive: United #5829  Intercontinental Hotel 139 East Kilbourn Ave 414-276-8686 Conf# 64102539	(Tim Jarome)	9:00-10:00AM	Breakfast (Jim Moyer)
<b>Monday March 3rd</b> 9:00-10:00AM	Breakfast downtown	(Dave Osmon)	10:00-11:00AM	Moyer lab time
10:00-10:50AM	Garland / Pearse tour	(Helmstetter)	11:00-12:00N	____ Jim Moyer _____ (GAR 204) ____ Marcellus Merritt _____ ____ Tony Greene _____ _____ _____
11:00-12:00N	Associate Dean Rodney Swain HOL 243		12:00-1:30PM	Lunch with postdocs
12:00-1:30PM	Lunch with students	(GAR 204)	1:30-2:30PM	____ Katie Mosack _____ (PER 183) ____ Ray Fleming _____ _____ _____
1:30-2:30PM	____ Sue Lima _____ (PER 183) ____ Bonnie Klein-Tasman _____ ____ Doug Woods _____ ____ Vince Adesso _____ _____ _____		2:30-3:30PM	Biological Sciences Faculty (LAP N521 / TBA)
2:30-3:00PM	Prep for colloquium	(GAR 207)	3:30-4:30PM	____ Jay Moore _____ (PER 183) ____ Marshall Dermer _____ ____ Diane Reddy _____ _____ _____
3:00- 4:00PM	“Neural control of motor learning” LUB S263		5:00PM	Transportation to airport (Helmstetter)
4:00-5:00PM	Reception	(PER 184)	7:15PM	Depart: United #5891
6:30PM	Dinner with faculty  Jim Moyer Chris Larson Tony Greene Fred Helmstetter			

## 一次面接：

各候補者に2日間かけ、プレゼンだけでなく学部内外の教員・ポスドク・大学院生と面接

# 日米のテニユアトラックに対する考え方の違い

## 日本

- 直接テニユア（専任）ポストへの道がある以上、テニユアトラックはその下に位置する
- テニユアトラックの5年間でふるいにかけるその間に専任ポストを準備する
- 年齢制限がある

## アメリカ

- テニユアを取るにはテニユアトラックを通らなければならない
- テニユアトラック採用時にふるいにかける（競争率は100-300倍！）専任ポストは初めから用意されている（テニユア獲得率は80-90%（例外有））
- 年齢制限はない（あったら違法）

情報の共有が重要！



創造科学技術研究機構

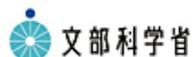
- ▶ 機構長ご挨拶
- ▶ 研究機構概要
- ▶ イベント情報

テニュアトラックプログラム

- ▶ テニュアトラックとは
- ▶ 運営体制
- ▶ ミッションステートメント(行動指針)
- ▶ 研究者紹介
- ▶ 国際公募情報

インフォメーション

- ▶ このサイトについて
- ▶ お問い合わせ
- ▶ サイトマップ
- ▶ 教職員専用ページ



## 2013年度テニュアトラック教員(医学分野)の国際公募について

2013年8月

東海大学創造科学技術研究機構

### 記

東海大学(以下、「本学」という。)創造科学技術研究機構では、文部科学省の平成25年度テニュアトラック普及・定着事業に基づき、医学系において2013年度に着任予定のテニュアトラック教員1名を募集致します。

医学関連分野で全学の研究の将来を担って行けるようなインパクトの高い研究テーマを遂行し、臨床と協調・連携し得る資質・潜在能力を持つ広い視野を持った人材を求めます。

原則的に3年度目の中間評価と5年度目の厳格な最終審査で適格と認められたテニュアトラック教員は、本人の専門性を生かした本学の学部等において、専任教員として採用されます。詳細については下記をご確認ください。

### 募集人員

テニュアトラック教員1名 (医学部門)

※学内委員会での厳正な審査により、助教・講師または准教授の身分を決定します。